

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年十月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第997号

龍

跳

第八十卷

11

月号

高知
龍跳書道会

町 田 碧 峰 書

躍 動



昭和59年 須崎中学校校訓碑

擬山園帖第一
ぎざんえんちよう

王鐸
おうたく

玉書過箕山齋同
魯齊彥甫鳴諧和
歌吹簫調絃天氣不
嚴沍解衣襲磚日
薄莫興趣勃然
書數綾幅頗不惡
何也有嫩姬絮集

玉書過箕山齋。同

魯齊彥甫鳴諧和

歌吹簫調絃。天氣不
(氣)

嚴沍解衣襲磚。日
(榮)

薄莫興趣。勃然
(興)

書數綾幅。頗不惡、

何也有嫩姬絮集

ぎざんえんちよう
擬山園帖第一

おう
王 鐸 たく

王鐸（二五九二―二六五二）は河南孟津の人。字は覺斯、齋号を擬山園などと称した。天啓二年（二六二三）三十一歳で進士に合格。文辞に巧みであったので、庶吉士・翰林院編集を授けられた。

書は晋唐の古法帖、とりわけ王羲之・猷之父子を法とし、原帖を手掛かりとして表現の上に独自の工夫を重ね、情熱や意気そのままに激しい筆を続本（紙面）に走らせた。「この書卷は」運筆が確かであり、氣迫充実した風格を示しているので王鐸学習にはこのうえない法書である。

梅川桂龍書

雨後江上綠客悲隨眼新桃花十里黑影搖蕩一江春

雨後江上綠客悲隨眼新桃花十里黑影搖蕩一江春

森本寿山書

結廬在人境而無車馬喧問君何能爾心遠地自偏

結廬在人境而無車馬喧問君何能爾心遠地自偏

梅
川
桂
龍
書

因
見
古
人
情

因よつてみる古人こじんの情じやう

10月20日締切

梅
川
桂
龍
書

張
翰
江
東
去

張
翰
江
東
に
去
る

11月20日縮切

福
原
曉
雲
書



一
心
斯
レ
恒
有
り

福原曉雲臨

王鐸

同魯齋彥甫

同魯齋彥甫

江西澄翠書

茶燭不共晨燒
雨歇今午寧涼

澄翠

門田惠子

臨

門田惠子臨

圓

繼

安豐

金剛

金剛

終

招

六

智鏡

終

金剛

臨

市原處艸書

芳華已老烟花老
為俄驚夢夢中

大井 淳 臨

三友願僕射占軍容
為直諫之友不

淳公

座州縣軍城之禮心恐未
能朝廷公議之宜不應

西山極山

西山極山

道遠溪父來指點停舟處
空在小橋邊風吹芳溪柳

大崎花梢

大崎花梢

觀音靈像動霜刃而
巢層咲運金彩

武政幽雅

武政幽雅

至人無為大聖不作彼習
其力我享其功者也

深瀬綠堂

深瀬綠堂

俗而善工者一呼一應秋
銀河也外陽時有一星流

中平美峰

中平美峰

寺仍程上控為六分
朱子書卷第一

橫山桂華

橫山桂華

旅食正蕭條況別知音者空
抱流水琴獨立斜陽下

岩崎竹山

岩崎竹山

六藝門閤中表裏
康睦遂乃體謝

津野惠泉

津野惠泉

仙思憶望不憚煩勞
檀泮赴此院此

岩村 祥

岩村 祥

緣東入境親陳集他
鄉彼此同暖衣量

山脇佳月

山脇佳月

条幅当選作品

前田 秀華 選評

★天位

西山極山君Ⅱ濃墨作品で線も深くて強い。

大崎花梢君Ⅱ筆の開閉をうまく使い伸びやかに運筆している。

武政幽雅君Ⅱ落ち着いた筆使いで素晴らしい。

深瀬緑堂君Ⅱ線に丸みがあり真面目な臨。

中平美峰君Ⅱ楽しい作品ですが、二行目が少し右へ寄り
ましたね。

★地位

横山桂華君Ⅱ大胆な筆使いで堂々としている。

岩崎竹山君Ⅱ楽な書き振りで作品がすっきりしている。

津野恵泉君Ⅱ味のある線で呼吸が通っている。

★人位

岩村 祥君Ⅱ素朴な風信帖。

山脇佳月君Ⅱ線にめりはりがあり流れよし。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

10月の審査は27日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

審査会終了後(12時30分～)条幅勉強会を行います。

参加希望の方は、筆をご持参下さい。(参加料500円)

紅金
葉山

中学一年課題
廣末幽念書

生様
活式

11月20日縮切

世界
平和

小学五年課題

隅田亘心書

月の
光曲

11月20日締切

文の文化

11月20日締切

小学三年課題

大原桂園書

山里

11月20日締切

しは
や

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋女 書

ふえ

11月20日縮切

学 校 名		級 段	氏 名
	六 年		
世界の中で少なくとも五千万人以上が犠牲になった第二次世界大戦の後、二度とこのように戦争を起こさないために世界の国々が集まって、国連は作られました。			

学校名										
四年										
級段										
氏名										
	に	た	さ	こ	和		お	か	げ	さ
	ま	ア	ん	と	紙		か	げ	さ	ま
	と	ン	に	が	作		ま	で	で	「
	め	ケ	協	で	リ		の	発	表	を
	て	ー	力	き	「		発	表	を	行
	発	ト	し	ま	の		表	を	行	う
	表	結	て	し	発		表	を	行	う
	し	果	い	た	表		表	を	行	う
	ま	も	た	だ	を		表	を	行	う
	し	、	い	だ	を		表	を	行	う
	た。	表	い	だ	を		表	を	行	う

学校名					
三年					
級段					
氏名					
	ぜ	ぶ	そ	ま	た
	合	し	れ	ぜ	米
	わ	た	と	た	か
	せ	大		も	麦
	ま	豆	し	の	に
	す	に	お	を	コ
		く	を	用	ウ
		わ		意	ジ
		え	に	し	カ
		て	て	ま	ビ
		ま	つ	す	を

がっこう	前	き	心	か	
	で	ご	に	ら	二
		と			年
二	話	を	の	こ	生
ねん	し		こ	れ	に
だ	ま	み	っ	ま	
きゆう	し	ん	た	で	な
なまえ	よ	な		に	っ
	う。	の	で		て

がっこう		ふ	を	は	
		ね			し
一		で	け	ふ	よ
ねん		す	す	ね	う
だ きゅう		。		の	ぼ
なまえ			た		う
			め	火	て
			の	じ	い

がっこう				
ほ ねん	えん	きよ	お	た
	ん	よ	べ	の
だ きゆう なまえ	そ	う	ん	し
	く	は	と	い
	で		う	
	す。			

〈お知らせ〉

★

10月27日(日)審査会終了後、12時30分から

「書道錬成会」を行います。

学習課題は

「10月号1頁の王鐸おうたく・ぎょんえんちよう擬山園帖第一」

です。資格は問いません。多くの方の

参加を望みます。

なお、参加される方は、筆をご持参

下さい。(参加費・五百円)

★第46回 畫心会書展

会期・令和6年11月29日(金)～12月1日(日)

午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

会場・須崎市立文化会館

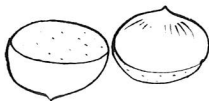
(訂正)

右の書展の出品票をお配りしましたが

同票の最後の搬入出欠欄の

日付が十七日になっていますが

正しくは二十八日です



昨日 圭子書	別離已	昨日 津師 堅田清園	別離已	昨日 容舟	別離已	昨日 映月書	別離已	昨日 高時書	別離已
昨日 心春	別離已	昨日 ほ月	別離已	昨日 星子書	別離已	昨日 秋松	別離已	昨日 今山書	別離已
昨日 由利子書	別離已	昨日 美香書	別離已	昨日 美草	別離已	昨日 美柳書	別離已	昨日 仁陽書	別離已
昨日 おさ書	別離已	昨日 志津	別離已	昨日 虎之介書	別離已	昨日 廣崎 松林美枝書	別離已	昨日 知如書	別離已

(一・二段目) 梅川桂龍 選評
處卿君 〓 やや重きところあるも剛健
の作で佳。
皓月君 〓 伸びやかに澄んだ線で明る
い。
容舟君 〓 整然として引き締まった作、
佳。
清園君 〓 匠な筆致で趣きあり。
圭子君 〓 運腕大きく、全体に意が届
いている。
竹山君 〓 優しいタッチで味わいがある。
(二・三段目) 岡崎緑水 選評
秋桜君 〓 線丸く気力充実の作。
星子君 〓 線に深みあり、温かく堅実
な作。
佳月君 〓 厳しい線で伸びやかさあり。
心春君 〓 温和な明るい作。
仁陽君 〓 強い線で活力を感じる。
(三・四段目) 武内美仁 選評
美邦君 〓 重厚な線で見応えあり。
美草君 〓 線はよく伸びて、バランス
もよい。
美香君 〓 字々明るく、力みなく良く
まとめている。
由利子君 〓 紙面構成も良く、美しい。
知加君 〓 一紙を庄する作。見ごたえ
あり。
美枝君 〓 素直に書けて、暖かみがある。
(四段目) 大八木洋女 選評
虎之介君 〓 堂々たる書きぶりを見せ
て頂きました。
志津君 〓 品良く静かな作品です。
みさ君 〓 気のことつた丁寧な作品で
す。半紙の天を少し下げら
れたらどうでしょう。

何所素
羊人

善書
老健

市肆列
陳風

淨土法
遊西

言可擇

言可擇

言可擇

言可擇

郎廟

郎廟

郎廟

郎廟

還于卿
佐必異

望心憚
煩勞

一州俾
圖報

言可擇

射為
軍倭

射為
軍倭

理諫
立朱

果丸
福次

言可擇

言可擇

中鉅鹿

言可擇

郎廟

郎廟

郡公臣

郎廟

美佐君

美佐君

美佐君

美佐君

千賀君 灌頂記の雰圍気あり。
恋子君 線に丸味あり安定している。

房 君 運筆が素直で線も強い。
(四段目) 西山極山 選評
虎之介君 初めて取り組んだ作品。
がんばって。

知加君 力みなく伸びやかな作。
美佑君 無理なく筆が伸びている。
隆光君 気負いなく温和な作。

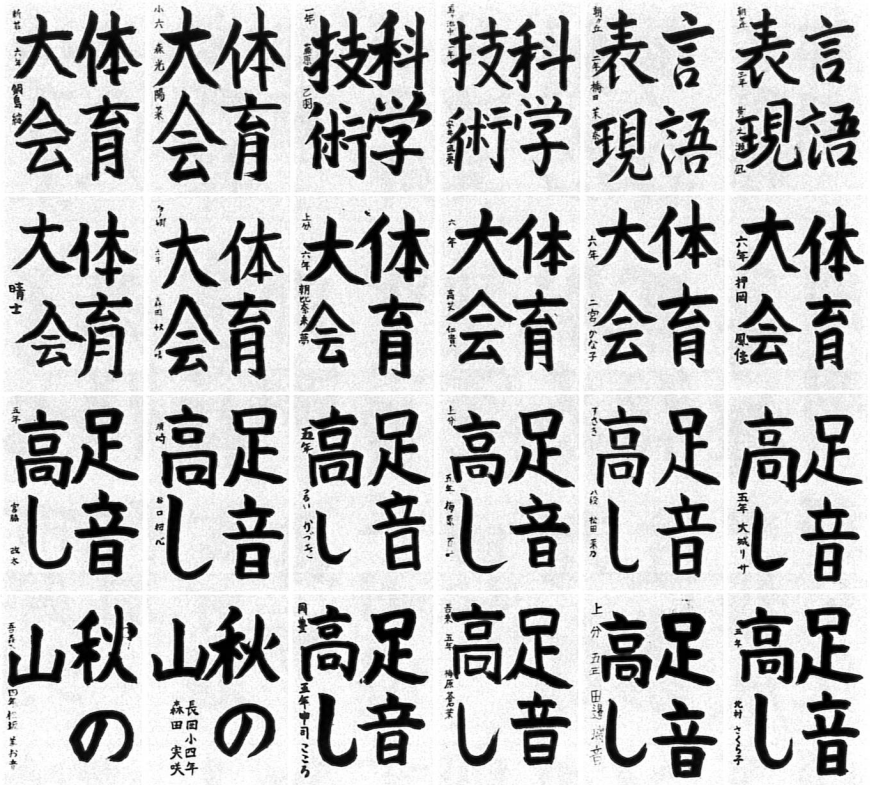
仁陽君 非常に伸び伸びといいです。
(三・四段目) 野島桂山 選評
倫子君 優しく真面目な作。

美邦君 温和な線質で明るい。
淳 君 墨量多く豊かな臨。
幸子君 力みなく温和な作。

原奈君 堂々と書いています。
祥 君 のびやかで暖かみがある。
廣峰君 書譜の作、抜群益々ご加勉
を祈ります。

主子君 真面目な筆法だが、今一度
原帖を吟味して欲しい。
美佐君 動き大胆な所は良い。争座
位にしたら、ゆったり感が
欲しいところ。

(一・二段目) 福原曉雲 選評
恵花君 躍動感抜群なり。
賀峰君 端正にして情趣有り。
紅子君 原帖のごとく、大らかさ有
り。心が和む作。



(一段目) 中学部 岡林邦心 選評

風 君 力強い作品です。

茉奈君 力強い作品です。

風葵君 力強い作品です。

乙羽君 力強く書いていますが、少し小さく書くとも良いです。

(一・二・三段目) 小学六年 中平美峰 選評

陽菜君 力強い作品です。線も強いです。

綜 君 力強く書いています。もう少しゆつくり。

風佳君 力強い作品です。

かな子君 力強い作品です。

仁貴君 真面目に書いています。「大」が少し大きかったね。

来夢君 がんばって書きました。払いをいねいに。

快晴君 力強い作品です。これからも頑張つて。

晴土君 力強い作品です。ゆつくり書いてみましょう。

(三・四段目) 小学五年 深瀬緑堂 選評

リサ君 力強い作品です。

菜乃君 力強い作品です。

百叶君 力強い作品です。

香月君 力強い作品です。

桜心君 力強い作品です。

改太君 力強い作品です。

さくら子君 力強く書いています。

璃音君 力強い作品です。

蒼葉君 力強い作品です。名前も良い。

こころ君 力強い作品です。

(四段目) 小学四年 奥堂皓月 選評

実咲君 力強い作品です。

美緒音君 力強い作品です。

四年 宮崎はるか 山秋 の	四年 西内明利 山秋 の	小笠原 冰 山秋 の	須崎 三年 金堂 菊李 山秋 の	五年 西村 太希 山秋 の	四年 田村 健博 山秋 の
小二 大田 朋希 夕日	五年 秋原 幸来 夕日	須崎 三年 五段 田村 彰雪 夕日	四年 正木 希真 夕日	須崎 三年 西村 太希 夕日	須崎 三年 大崎 毛村 希花 夕日
おこう二年 中司 みのり むしそば	上野 二年 野見 龍一 むしそば	おこう二年 中野 まやと むしそば	上小 五年 古村 はるか むしそば	すさき二年 金堂 涼 むしそば	二年 柳 息吹 夕日 むし
まさ はんく 一スエラ 三 むしそば	おみ ぶん ぶん ぶん ぶん ぶん むしそば	おこう小 一 かん ぶん ぶん むしそば	おさう ぶん まつ かん ぶん むしそば	うまし ぶん ぶん ぶん ぶん むしそば	田邊 小 二年 島村 昇洋 むし

(一・二段目) 小学四年

健悟君 〓 すなおに書いています。

蒼來君 〓 のびやかにまとまっています。

莉李君 〓 大らかに書いています。

湊 君 〓 のびのびとしてしっかりと書いています。

明利君 〓 力強い線で明るい作品。

穂花君 〓 のびのびとしっかりと書いています。名前もていねい。

(二・三段目) 小学三年

香花君 〓 落ち着いて良く書いています。

太希君 〓 しつかりとまとまっています。

芳尚君 〓 のびのびと書いています。

紗雪君 〓 素直な作品です。

未來君 〓 堂々と書いています。

朋希君 〓 大きくのびのびと書いています。

息吹君 〓 真面目な作品です。

(三・四段目) 小学二年

涼 君 〓 落ち着いて書いています。

はるか君 〓 形よくかけています。

あやと君 〓 お手本をよく見えています。

みのか君 〓 力強く書いています。

みのり君 〓 元氣よくかけています。

昇河君 〓 どうと書いています。

ときお君 〓 がんばって書いています。

(四段目) 小学二年・ようちん・ほいくのぞみ君 〓 ていねいにしようすに書いています。

かお君 〓 げんきいっぱいかけています。

ゆいと君 〓 ちからづよくかけています。

こな君 〓 おちついてじょうずにかけています。

佐竹江月 選評

別役美佐 選評

大野美賀 選評

多ノ郷 森光陽菜
新莊 鍋島 綜

チリのイースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。
多ノ郷 森光陽菜

チリのイースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。
新莊 鍋島 綜

チリのイースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。
久礼 六・九 堀田 奏

チリのイースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。
長岡 六・七 二宮 嘉奈子

久礼 濱田 奏
長岡 二宮嘉奈子

須崎 川西 桜空
多ノ郷 松浦 結菜

チリのイースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。
須崎 六・四 川西 桜空

知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。
多ノ郷 五・九 松浦 結菜

知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。
須崎 五・八 松田 菜乃

知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。
長岡 五・七 北村 さくら子

須崎 松田 菜乃
長岡 北村さくら子

浦ノ内 森田 葵
岡豊 中司 ころ

「知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。」
浦ノ内 五・六 森田 葵

「知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。」
岡豊 小五・三 中司 ころ

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいです。次に、梅を塩づけにします。最後に、日光に当ててほす作業です。
長岡 小四・八 森田 央咲

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいです。次に、梅を塩づけにします。最後に、日光に当ててほす作業です。
小高坂 四・七 川西 康介

長岡 森田 実咲
小高坂 川西 康介

須崎 金堂 莉李
浦ノ内 中平 滯里

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいです。次に、梅を塩づけにします。最後に、日光に当ててほす作業です。
須崎 四・五 金堂 莉李

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいです。次に、梅を塩づけにします。最後に、日光に当ててほす作業です。
浦ノ内 四・四 中平 滯里

梅ぼしの作り方を、三つに分けて順番に説明します。まず、水あらいです。次に、梅を塩づけにします。最後に、日光に当ててほす作業です。
長岡 四・二 小笠原 冰

初夏の里山は、緑いっぱいの、とてもうつくしい世界です。イネが元気にすくすくとそだち、やさしい風にふかれて、ゆれていきます。
須崎 三・六 毛利 香花

長岡 小笠原 湊
須崎 毛利 香花

浦ノ内 池田 理人
岡豊 島村 心遥

初夏の里山は、緑いっ
ばいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元氣
にすくすくとそだち、や
さしい風にふかれて、ゆ
れていきます。

初夏の里山は、緑いっ
ばいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元氣
にすくすくとそだち、や
さしい風にふかれて、ゆ
れていきます。

初夏の里山は、緑いっ
ばいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元氣
にすくすくとそだち、や
さしい風にふかれて、ゆ
れていきます。

初夏の里山は、緑いっ
ばいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元氣
にすくすくとそだち、や
さしい風にふかれて、ゆ
れていきます。

越知 藤崎 華乃
長岡 澤村 郁菜

すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

うらノ内 岡林ゆい花
うらノ内 徳永はや斗

池川 北村 心暖
あそう まつさかのぞみ

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

えっちゃん、は、お
かあさんに、赤い
すてきな、ぼうしを
もらいました。う
らを、見て、ごらん

おおノごう さかもとみさき
うらノ内 吉おか まひろ

ふぞく えがしら こう
うらノ内 中ひら ゆう大

ぬるり わかめ
しこしこ たこ
あつあつの ふろ
ふきだいこん
ふぞく、えがしら、こう

ぬるり わかめ
しこしこ たこ
あつあつの ふろ
ふきだいこん
ふぞく、えがしら、こう

ぬるり わかめ
しこしこ たこ
あつあつの ふろ
ふきだいこん
ふぞく、えがしら、こう

ぬるり わかめ
しこしこ たこ
あつあつの ふろ
ふきだいこん
ふぞく、えがしら、こう

かみぶん なかじまゆいと
すさき こんどう こな

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★二級 仁淀川○鶴井未来		★三級 須南○小笠原香代		★四級 高知 ○山岡斗子		★五級 浦ノ内 ○藤田美知子 須崎 ○毛利恋子		審査 福原 暁雲		★師範	
随意											
★準師範 奥堂皓月 中平美峰 河村容舟 別役美佐 大平圭子 小笠原廣峰 西内仁子 岩崎竹山 池川千晶 小野山美喜 大野美賀 橋本祝子 藤原朱鳳 松浦明子 窪田碧泉 山西春草 桑原智子 天野喜泉 門田惠子 山川百合 山本恵歩 森光眉州 西村芳香 氏原美泉 鎌倉春陽 横山桂華 吉田深美 井口花道 西森令泉 戸田孝北 高橋朱鳥											
審査 廣末 幽念											
★六段 浪上理奈 岩村 祥 岡村妙慧 伊吹悠道 坂本碧香 下元玉泉 松本世津											
★五段 大井 淳 濱田幸子 笠原多嘉 岡林 翠 鈴木輝代 山本心春											
★四段 西岡仁陽 山崎隆志 岡本薫山 横田紫秋 中澤英子 浜 恵子 西森啓助 高橋翠園 濱田順子											
審査 野島 桂山											
★三段 坪内倫子 杉本美邦											
★二段 森澤美佑貴 林 隆光 高橋美草											
★初段 金子知加 山本 房 川下久美 井上利子 藤原勝子 中内泰子 大原紀美子 掛水勝恵 市川美香 松坂美枝 和田恵美 濱田小百合 西村美恵子											
★一級 川口虎之介 尾立千賀 川崎志津 芝 沙織											
審査 西山 極山											
川ヶ丘 橋田茉莉奈											
★特待生											
二年											
朝ヶ丘 黄之瀬風											
★特待生											
三年											
岡林 邦心											
審査											
池川 藤原乙羽											
★八段											
★九段 安井風葵											
一年											
★九段 長岡 二宮嘉奈子 長岡 高之仁貴 上分 朝比奈来夢 多ノ郷 森岡快晴											
★初段											
附属 三本晴士											
毛筆五年											
審査 深瀬 緑堂											
★九段											
多ノ郷 大城リサ											
★九段											
多ノ郷 森光陽菜 新莊 鍋島 綜											
★九段											
長岡 押岡風佳											
★八段											
長岡											
★特待生											
多ノ郷 鍋島 綜											
★特待生											
多ノ郷 森光陽菜											
新莊 鍋島 綜											
★九段											
多ノ郷 大城リサ											
★九段											
多ノ郷 大城リサ											

★八段 須崎 松田葉乃 上分 梅原百叶	毛筆四年		★七段 池川 鶴井香月 須崎 谷口桜心 長岡 宮脇改太 上分 小松希美	★六段 長岡北村さくら子 多ノ郷 橋田天河 岡豊 島村倅空	★五段 上分 田邊璃音 須崎 田村拓海 長岡 竹内陽南子 上分 柳本稀衣	★四段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽	★三段 岡豊 中司ころ	★二段 別府 後藤 樹
★八段 審査 奥堂 皓月	★七段 長岡 森田実咲	★七段 小高坂 川西康介	★五段 吾桑 松坂美緒音 須崎 田村健悟 吾桑 高橋蒼來 須崎 津野聖佳 馬路 小松太緒	★二段 長岡 小笠原湊 吾桑 西内明利 夜須 宮崎穂花 清藤 蘭	★三段 上分 中山結愛			
毛筆三年	★六段 須崎 毛利香花 須南 西村太希	★五段 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪	★四段 上分 梅原未來	★三段 多ノ郷 太田朋希 長岡 押岡息吹 長岡 竹内伽菜心 岡豊 島村心遥 長岡 猪野光騎	★二段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太	★初段 越知 藤崎華乃 吾桑 長山優奈		
★五級 長岡 ○澤村かな	★新規 九級編入 夜須 白石一莉 夜須 白石一華 夜須 白石一華	もうひつ二年	★四段 審査 別役 美佐	★三段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎	★二段 しんじょう 中じまあやと 上分 はし田一か 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ	★初段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇河 朝倉 根口心花		
★二級 須崎○谷口きずな	★七級 馬路 ○小松時生	もうひつ一年	★二段 審査 大野 美賀	★九級 岡豊 ○おぎかお	もうひつ ようち・ほいく	★初段 上分 なかじまゆいと	★三段 須崎 ○こんどうこな	★四級 ふたば○後藤和葉
★五級 池川 ○鶴井遥都	第691回硬筆成績 ○印は昇級		硬筆六年	★特待生 審査 森本 寿山	多ノ郷 森光陽菜 新莊 鍋島 綜 浦ノ内 矢野蒼真 初月 川淵結衣	★九段 久礼 濱田 奏 長岡 押岡風佳	★八段 長岡 高芝仁貴 上分 朝比奈来夢	★七段 長岡 二宮嘉奈子 越知 大原瑠心
★六段 多ノ郷 森岡快晴 (作品遅着です)			★五段 藤沢 駒崎愛恵	★四段 上加 政岡明里	須崎 川西桜空 大谷北 山崎流依 大谷北 大木柚杏 城東 持田和花 須崎 川西蒼空	★初段 附属 三本晴士		

低学年の生徒名も 5 字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

硬筆五年 こうひつごねん 審査 江西 澄翠	★九段 多ノ郷 松浦結菜 多ノ郷 大城リサ 上分 梅原百叶	★八段 須崎 松田菜乃 一ツ橋 田辺蒼月 上分 小松希美	★七段 長岡北村さくら子 長崎 谷口桜心 須崎 宮脇改太 上分 浦ノ内美島希以花	★六段 久礼 森岡虹 久礼 窪田茉優 浦ノ内 松山翔 長岡 竹内陽南子	★五段 吾桑 梅原蒼葉 上分 政岡桃加 浦ノ内 山本彩喜 須崎 田村拓海 上分 柳本稀衣	★四段 岡豊 島村倅空 浦ノ内久保田健介 上分 岩田愛菜	★三段 岡豊 中司こころ 岡豊 田所萌羽	★二段 別府 後藤 樹	★初段 浦ノ内 中田湖音	★四級 吾桑 ○堅田有咲	★二級 藤沢 駒崎信慈 (作品遅着です)	★二級 吾桑○高橋芽生奈	★四級 吾桑 ○堅田有咲	硬筆四年 こうひつごねん 審査 市原 處舛	★八段 長岡 森田実咲	★七段 小高坂 川西康介 須崎 谷脇愛來	★五段 須崎 高堂莉李 吾桑 高橋蒼來 越知 米澤陽翔 夜須 清藤 蘭 久礼 薦田コモモ 吾桑 松坂美緒音 佐古 田村健悟 須崎 津野聖佳	★四段 浦ノ内 中平滯里 久礼 今橋那ノ葉 越知 西森優奈 久礼 黒原小夏	★三段 久礼 笹岡玲斗 上分 橋田 陸	★二級 吾桑 宮崎穂花	★二段 長岡 小笠原湊 長岡 西内明利 大谷北 大木陽智 吾桑 笹岡蒼馬	★初段 池川 北村日和 池川 片岡亜李紗 越知 大原ほのか	★一級 久礼 堀田瑛太	★三級 奈路 ○植野 新	★四級 久礼 ○西村波琉 上分 中山結愛	硬筆三年 こうひつごねん 審査 野中 恵花	★五段 須崎 田村紗雪	★四段 浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩葉 浦ノ内 山本瑞貴	★三段 岡豊 島村心遥 長崎 藤崎華乃 越知 押岡息吹 多ノ郷 坂本大和 多ノ郷	★二段 長岡 森光梨衣奈 多ノ郷 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 上分 梅原未來 長岡 宮脇治太 久礼 藏下夏愛	★初段 浦ノ内 片山ひまり 上分 吉原綾人 久礼 松山愛凜 久礼 山本優奈 吾桑 長山優奈 長岡 猪野光騎	★初段 久礼 黒原小春 夜須 白石一華	★初段 須崎 田村紗雪	★二段 長岡 森光梨衣奈 多ノ郷 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 上分 梅原未來 長岡 宮脇治太 久礼 藏下夏愛	★初段 浦ノ内 片山ひまり 上分 吉原綾人 久礼 松山愛凜 久礼 山本優奈 吾桑 長山優奈 長岡 猪野光騎	★初段 久礼 黒原小春 夜須 白石一華	★初段 須崎 田村紗雪	★二段 長岡 森光梨衣奈 多ノ郷 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 上分 梅原未來 長岡 宮脇治太 久礼 藏下夏愛	★初段 浦ノ内 片山ひまり 上分 吉原綾人 久礼 松山愛凜 久礼 山本優奈 吾桑 長山優奈 長岡 猪野光騎	★初段 久礼 黒原小春 夜須 白石一華	★五段 須崎 田村紗雪	★四段 浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩葉 浦ノ内 山本瑞貴	★三段 岡豊 島村心遥 長崎 藤崎華乃 越知 押岡息吹 多ノ郷 坂本大和 多ノ郷	★二段 長岡 森光梨衣奈 多ノ郷 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 上分 梅原未來 長岡 宮脇治太 久礼 藏下夏愛	★初段 浦ノ内 片山ひまり 上分 吉原綾人 久礼 松山愛凜 久礼 山本優奈 吾桑 長山優奈 長岡 猪野光騎	★初段 久礼 黒原小春 夜須 白石一華	★初段 須崎 田村紗雪	★二段 長岡 森光梨衣奈 多ノ郷 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 上分 梅原未來 長岡 宮脇治太 久礼 藏下夏愛	★初段 浦ノ内 片山ひまり 上分 吉原綾人 久礼 松山愛凜 久礼 山本優奈 吾桑 長山優奈 長岡 猪野光騎	★初段 久礼 黒原小春 夜須 白石一華	★初段 須崎 田村紗雪	★二段 長岡 森光梨衣奈 多ノ郷 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 上分 梅原未來 長岡 宮脇治太 久礼 藏下夏愛	★初段 浦ノ内 片山ひまり 上分 吉原綾人 久礼 松山愛凜 久礼 山本優奈 吾桑 長山優奈 長岡 猪野光騎	★初段 久礼 黒原小春 夜須 白石一華	★五段 須崎 田村紗雪	★四段 浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩葉 浦ノ内 山本瑞貴	★三段 岡豊 島村心遥 長崎 藤崎華乃 越知 押岡息吹 多ノ郷 坂本大和 多ノ郷	★二段 長岡 森光梨衣奈 多ノ郷 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 上分 梅原未來 長岡 宮脇治太 久礼 藏下夏愛	★初段 浦ノ内 片山ひまり 上分 吉原綾人 久礼 松山愛凜 久礼 山本優奈 吾桑 長山優奈 長岡 猪野光騎	★初段 久礼 黒原小春 夜須 白石一華
---	---	--	--	---	--	--	--	---------------------------	----------------------------	----------------------------	--	----------------------------	----------------------------	---	---------------------------	--	---	---	---------------------------------------	---------------------------	--	---	---------------------------	----------------------------	--	---	---------------------------	--	--	---	---	---------------------------------------	---------------------------	---	---	---------------------------------------	---------------------------	---	---	---------------------------------------	---------------------------	--	--	---	---	---------------------------------------	---------------------------	---	---	---------------------------------------	---------------------------	---	---	---------------------------------------	---------------------------	--	--	---	---	---------------------------------------

(出品票)

のり代

6年
11月
条幅

氏

名

臨書は出典名

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 迅 音 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

夜須 白石一莉 ★六級 長岡 〇澤村郁菜 ★七級 浦ノ内 〇森田海音 こうひつ二年 審査 小川 理香 ★四級 須崎 金堂 涼 ★三段 上分 吉村はるか 多ノごう はし田かほ 吾桑 高橋依吹 多ノごう 森光連太郎 ★二段 浦ノ内 岡林結花 浦ノ内 徳永はや斗 加茂 山岡みずき 上分 中じまあやと 上分 はし田一か 久礼 黒原りか 朝倉 根口心花	★初段 池川 北村心暖 池川 伊藤日向 池川 上村心晴 久礼 下谷ことは 長岡 安井 颯 久礼 政岡有美 池川 片岡紗雪 岡豊 中司みのり ★一級 岡豊 島村昇牙 奈路 植野 葵 吾桑 鈴木 花 ★二級 上加 〇木村ひらと 上加 〇政岡そうし ★三級 長岡 〇金堂こうすけ 須崎 谷口きずな ★五級 久礼 〇岩瀬 涉 久礼 近藤みのり 久礼 小林なほ ★六級 上加 〇大内ゆずの	★八級 久礼 〇加茂みやび 吾桑 〇宮崎陽香 ★九級 長岡 〇村上こゆ 吾桑 〇堅田彩乃 ★新規 十級編入 城東 丸山颯士 こうひつ一年 審査 石川 美水 ★三段 吾桑 松坂望未 ★二段 多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内 吉岡まひろ ★初段 附属 江頭 航 浦ノ内 中平ゆう太 浦ノ内 宮田いと	★五級 久礼 〇森岡べに ★七級 佐川 〇井上めい 久礼 〇黒原あお ★八級 浦ノ内 〇てら内かのん 高岡 〇隅田しゅう 久礼 〇奈路かなえ ★十級 岡豊 おぎかお ★新規 十級編入 たひ隅田ゆうじん こうひつ ようち・ほいく 審査 石川 美水 ★初段 上分 なかじまゆいと	★二級 須崎 〇こんどうこな ふたば 後藤和葉
--	---	---	--	---------------------------------------

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限会社 樹筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

のり代	
6年	11月
規定	
地	名
氏	名
段	級



橋 本 祝 子 氏

のり代	
6年	11月
随意	
臨は出典名	氏
氏	名
段	級

卿佐必異良方出於
阿是夢堯之言

この度は、準師範に認定していただきありがとうございました。
木村会館の講座が龍跳との出会いでした。大八木先生のきめ細かいご指導、その後（故）出間先生に温かい丁寧なご指導を受けて勉強の幅を広げる事が出来ました。
これまでには、書を遠ざけたり、熱意が不足した事も有りましたが踏ん張って続けてこれたことを今は素直に喜んでいます。
今後も、日々努力を積み重ねていきますのでどうかご指導の程よろしくお願いいたします。



小笠原 廣 峰 氏

卿佐必異良方出於
阿是夢堯之言

この度は準師範の認定をいただきありがとうございます。
仕事に必要だろうと、小学生振りに始めた書道ですが、森本先生の細やかな指導のおかげで、この様な大きな成果を得る事が出来ました。
これからも精進してまいりますので、御指導の程よろしくお願いいたします。

毛 筆 の 部



上分中学校 二年

弘 田 聖 奈

この度は目標にしていた毛筆の特待生になれて嬉しいのです。これまでご指導してくださった先生に感謝しています。これからもていねいに字を書いていきたいです。



新莊小学校 六年

鍋 島 綜

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。僕は、硬筆と同時に保育園の年長から始めました。はじめは、なれない筆に苦労しました。また、サッカークラブに入ったことにより、つかれや試合日でけいこを休む事も多くありました。でも家族が支えてくれてなんとかがんばりました。これからも字をていねいに書くようになります。



多ノ郷小学校 六年

森 光 陽 菜

今回は特待生に選んでいただきありがとうございました。小学校卒業するまでに、毛筆と硬筆のどちらも特待生になることができ、とてもうれしいです。これからも、もつと字が上手になれるようにがんばります。



硬筆の部



初月小学校 六年

川 渕 結 衣

今回は、特待生に選んでいただきありがとうございます。私は幼稚園の時から硬筆を習っています。「いつか私も特待生になれるかな、なりたい」その思いが現実となり、続けてきて本当に良かったです、と思いました。指導して下さった濱田先生ありがとうございます。

「美しい字は一生の宝物」この言葉を大切にこれからもきれいな字をていねいに書き続けていきたいと思っています。



浦ノ内小学校 六年

矢 野 蒼 真

この度は、特待生に選んでいただき、ありがとうございます。僕は一年生から硬筆を始めました。先に姉が特待生になっていたで、僕も特待生になりたいと思っていましたのでうれしく思います。

中学生になっても、きれいな字を書くようにしたいと思います。

のり代

6年 月 筆
11 硬

校 名

氏 名

段

級

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範

三千円

★準師範以下一般

二千円

★学 生

一千円

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一三三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

生活と学書

書道は衰微した、或は古典として葬り去られようとしている、とさえいわれる周囲を見廻してみても日本人として物心両方面から書の必要さは誰しも痛感している。それでいて衰微したといわれる原因なり発展への障碍は現代の世情にある日常生活に於ける衣食住の困難は日本人から人間らしさを奪い、物慾以外の何物をも忘れ去らしめ様としている。少しはこれに余裕あるものでも学書用具の昂騰と欠乏は書道を日常生活の外に置かざるを得なくせしめた。

戦争はかつて誤った精神論をもつてして書道を興隆せしめたが、敗戦はその行過ぎた精神論の反動と物資窮乏を以てして書道を衰微せしめたのである。

しかし乍らすい微したという書の必要さは誰しも認めているにかゝわらず、その楽

しみ、大げさな云いかたであるが、芸術的創作の喜びを知っているものは案外少ない。書道に限らざるとはいえここに復興と発展の道がある。

現在書を学んでいる人は大なり小なりこの楽しみを知り、窮乏生活の中に猶学書の喜びを味わっている者であろう。

俳人医博K氏に

この道や寒しと知れど行く我が句がある。芭蕉の云うこの一筋につながる道ではなくても我々は困苦の中にこそ生活のうるおいを失いたくない。この世情であればこそ折角知り得た学書の楽しみをより深く知り、一人でも多くの人に喜びと生活のうるおいを頒ちたいものである。

(昭和二十二年七月二十日)

龍跳特別号「高棲」より

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳書道会 兼松口盛幸邸

01690-3-31925
電話（〇八八九）三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原曉雲

電話（〇八八七）二九一二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二二三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）
〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七一〇七二一番

あとがき

龍跳書道会元会長、出間桂堂師が逝去されてから7ヶ月。月日の流れの早さに驚きです。

思い起こしてみますと、みんなが現役の頃、郵便局と市役所との交流がよくありました。何回目かの交流後出間先生から「書道を始めないか」と誘いを受け私と塚地さん、そして今は亡き宮地さん外数名で指導を数十年受けてきました。当時仲間の誰かが昇段するとよく宴会をしました。

先生が退職されて娘さんのいる近くに転居されました。高知市横内に行ってから、越知町の教室や、高知の各教室で長年指導されていました。各教室では沢山の指導者を育ててきました。現在も皆さん頑張っています。

心やさしい師でした。今は感謝の言葉しかありません。

合掌

— 桂山 —

月例競書課題

部 別	締切日	
	十一月二十日	十二月二十日
一般条幅	任 意	任 意
半紙規定	張翰江東去	正值秋風時
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	全山紅葉	健康対策
二年		
一年	生活様式	研究発表
小学六年	世界平和	四国山地
五年	月光の曲	強い北風
四年	文化の日	冬休み
三年	山里	大雪
二年	はやし	だんろ
一年	ふえ	ゆき
保 育		

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10～)
(幸便搬送の方は干料不要)

①	1 冊	180円
②	2 冊～7 冊	210円
③	8 冊～20冊	430円

21 冊以上は次の計算による。

21冊 ㉔+ ㉠= 610円×月数
22冊～27冊 ㉔+ ㉡= 640円×月数
28冊～40冊 ㉔× 2 = 860円×月数
50冊の場合 ㉔× 3 = 1,290円×月数

㉔会費と龍跳誌干料は原則として半年分または1 年前納のこと。

㉔送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
(お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 干料 ○円

と記入のこと。

編集室 福原 曉 雲

野島 桂 山

江西 澄 翠

中平 美 峰

発行人 福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九二六五〇

発行所 龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九二六五〇

印刷所 (有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南門市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八八) 865-8857